

稲刈り・農業体験者大募集!!

- 日時 平成27年10月18日(日) 午前9時30分受付～午後1時
- 場所 稲刈り体験：普賢寺地域の田
昼食、米食べ比べ：普賢寺ふれあいの駅
- 募集人数 先着50名(親子での参加も可能です。)
- 参加費 1人1,500円(昼食代、新米1kgお土産代、お米食べ比べ)
- 内容 稲刈り体験、コンバイン運転体験(要普通免許)
米食べ比べ(ヒノヒカリ・ハエヌキ・ヒメゴノミの三種類)
- 持ち物 長靴・軍手・タオル・お茶(飲物は準備していません。)
動きやすい服装で参加してください。
- 申込方法 普賢寺ふれあいの駅または京田辺市観光案内所へ電話で
参加者全員の氏名、年齢、住所(市町村名)、電話番号を
伝えて申し込んでください。
普賢寺ふれあいの駅 電話 0774-62-4250
京田辺市観光案内所 電話 0774-68-2810
- 申込締切 10月9日(金) 午後3時まで
- お問合せ 京田辺市観光案内所(平日9時～17時 土日祝9時～15時)
普賢寺ふれあいの駅

ふれあいしんぶん

発行所
普賢寺
ふれあいの駅
責任者 山下 明子
電話62-4250
京田辺市普賢寺小田垣62

今年の稲刈り体験



ライクーポン

10月21日(水)
22日(木)

“新米のおにぎり”
プレゼント!!

新米販売開始 10月24日(土)から

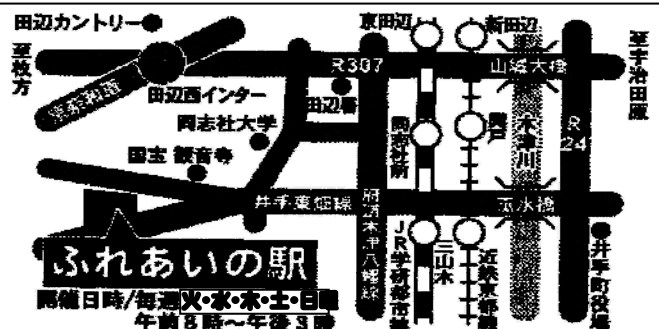
ヒノヒカリ 30kg 11,200円
10,500円
9,500円



プラスチックのリサイクルで
資源再開発に貢献しています。

藤林化学工業株式会社

〒610-0323 京都府京田辺市水取地蔵藤4の2
TEL0774-65-0180 FAX0774-65-0168



十月一日はお茶の日であります。各地でお茶祭りが開催されます。

京田辺市でも十月四日(曜日)に一休寺で開催されます。玉露、抹茶の無料接待と一煎。パックの配布など、ご参加下さい。

九月二日に大雨が降りその後秋雨前線が停滞をして、毎日が雨で秋冬野菜の種まき、植付けに一番よい時期ですが何も出来ません。お手上げです。

寒露は十月八日です。この頃から冷気が一段と増し、冷気にあたり凍結しようとする

秋の深まりを思わせる季節とされていますが、まだまだそんなに寒くはありません。旧暦では昨年とは十九日遅くなっています。山間地では紅葉が始まります。菊花ひらく、菊節句は旧暦の九月九日、それは新暦では十月二十一日になります。

古来官中では菊を酒に浮かべて楽しむ菊茶の宴が開催さ

10月の暦

紅葉の始まりは、旧暦の十月一日頃からといわれています。その旧暦の十月一日は十一月十二日になります。昨年とは十日早くなります。十一月二十日頃には素晴らしい紅葉が楽しめるのではないかと考えます。後の名月(十三夜)は十月二十五日です。この後名月は栗名月と呼ばれています。

十月の種まきの吉日は、六日、九日、十二日、二十一日、二十四日の五日間です。



山下 壽一

旬の野菜

新米の炊き方



【洗う】新米は水分を吸収しやすいので、最初の濁った水(ヌカの水)がすすぐは手早く捨てる。

【研ぐ】1回目は手早く洗い、ほぼ水がきれいになるまで3、4回優しくかき混ぜるように研ぐ。(米粒が割れると風味が落ちる)

【浸す】たつぷりの冷水に30分以上浸す。(ふつくら炊きあがる)

【炊く】水加減は炊飯器の目盛りよりやや少なめにする。

【ほぐす】炊きあがったらお米を切るように混ぜ、全体をほぐす。

最近乾燥・貯蔵の状態が良いので、新米も古米もさほど水分量は変わらないと言われるが、古米に比べて新米は水分を多く含むので水加減は若干もしくは一割程度控える。

品種によっても違うので一度炊いてみるのが一番。かために炊いて、しつかり噛んで食べたほうが、お米の持ち味が際立つとも言われる。

加工部からのお知らせ	日曜日	*おもち *炊き込みごはん *ふれあいちらし *赤飯
	火曜日	*おもち
	水曜日	*おもち
	木曜日	*おもち *炊き込みごはん *いなり寿し
	土曜日	*おもち *炊き込みごはん *いなり寿し

抹茶アートしませんか?

このような絵、自分で描けます!

※スタッフがご案内します。
※小学生でも体験できます。

めっちゃカンタン!新しい抹茶の楽しみ方!
絵を楽しんだ後は、もちろん飲みます!

舞妓の茶直宮喫茶店
「MAIKO茶ブティック」にて好評販売中

京田辺市田辺中央5-1-7 アルプラザ東隣 TEL: 0774-68-2472
火曜定休 ※喫茶のご提供は、11:30-18:00となります。

ふれあい新聞持参で
600円を、500円でご提供

※4名様までご利用いただけます。
※10月31日まで有効。
※他のサービスとの併用はできません。